

別記様式2

副専攻プログラム説明書

開設学部（学科）名〔生物生産学部（生物生産学科）〕

プログラムの名称	(和文) 動物生産科学副専攻プログラム
	(英文) Animal Science Program
1. 概要	動物生産科学副専攻プログラムでは、1) 動物の成長に関わる遺伝子、2) 受精の分子生物学的メカニズム、3) 脳内および消化器官におけるホルモンネットワークを介した動物の行動、4) 恒常性維持機構など、それぞれの教育科目で実施されている最先端の研究内容を含めた講義を通して、動物の生存、子孫を残すメカニズムを理解します。
2. 到達目標	動物を生産・利用する上で必要となる基礎的知識を修得することを目的とします。
3. 登録時期	プログラムの履修開始時期は3セメスターからです。また、プログラムの登録は、履修開始前（事前登録）とします。
4. 登録要件	本プログラムは、本学のすべての学生に開かれています。本プログラム選択のための既修得要件はありません。
5. 受入上限数	10名
6. 授業科目	※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。 ※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。
7. 修了要件	「6. 授業科目」に示す科目のうち、22単位を修得すること。
8. 責任体制	動物生産科学副専攻プログラム担当教員会
9. 既修得単位等の認定単位数等	(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等 8単位 (2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等 8単位

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

- 主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。
- 副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

動物生産科学副専攻プログラム履修表

区分	授業科目	単位数	履修期	要修得単位数
教養教育科目	生命・食・環境のサイエンス	2	3	このうちから2単位以上
	生物生産と自然との関わり	2	3	
	大地と家畜からのめぐみ（農場体験）	2	3	
専門基礎科目	動物生産サイエンス入門	2	3	2
	生化学入門	2	4	2
	分子生物学入門	2	3	2
専門科目	動物遺伝育種学	2	6	このうちから14単位以上
	動物生殖学	2	6	
	動物栄養学	2	6	
	動物生体機構学	2	6	
	動物環境生理学	2	7	
	動物福祉論	2	7	
	実験動物学	2	8	
	家畜管理学	2	8	
合 計				22

注：なお、生物生産学部以外の学生については、「生命・食・環境のサイエンス」を修得することが望ましい。